


6 必須事項略案モデル (中1)

年組	中1年	教科	技術	指導者	
単元・題材	構造の工夫				
ねらい	建物の補強について、班ごとに段ボール模型が倒れないための工夫を考え、実験し、考察を発表することを通して、斜めが丈夫であることを理解させる。				
評価規準 [観点](見取る方法)	[思考・判断・表現] 丈夫な補強になるための方法を考えている。(ノート)				
展 開	【めあて】	丈夫な補強について考えよう			
	《課題》	丈夫な補強の工夫は何か			
		<学習活動> ・個人で工夫を考える ・班で工夫を出しあい、段ボールで実験する ・丈夫だったわけを考察し、全体交流する			
		《まとめ》	まっすぐ平行に補強するより、斜めに補強したほうが丈夫になる。四角形より斜めに補強し三角形にすると崩れにくい。		
【振り返り】	・四角形は強いと思っていたけど、平行四辺形になると弱い。 ・直角を維持するために、三角形を利用しているのはすごい。				

6 必須事項略案モデル (中1)

年組	中1年	教科	理科	指導者	
単元・題材	物質の性質				
ねらい	見た目が似ている物質について、加熱・溶解した実験結果をもとに共通性や固有の性質を整理することを通して、判断の根拠を表現できるようにする。				
評価規準 [観点](見取る方法)	[科学的な思考・表現] 実験結果から物質の特徴を整理し、物質名を決めた根拠を表現できる。(ノート・観察)				
展開	【めあて】	3種類の白い物質を区別しよう			
	《課題》	実験結果から判断した根拠を説明できるか			
		<学習活動> ・前時で計画した実験を行う ・結果をフローチャートや表で整理する ・物質を特定した根拠を班で話し合い、全体交流			
	《まとめ》	Aは～の特性から食塩 Bは～の特性から砂糖 Cは～の特性からデンプン			
	【振り返り】	・特性を知っているだけでなく、それをもとに活用もできる。 ・科捜研がしている分析もこれに似ていると感じた。			

6 必須事項略案モデル (中1)

年組	中1年	教科	英語	指導者	
単元・題材	疑問詞When				
ねらい	疑問詞Whenについて、説明を聞いたり、例文を読み理解したりすることを通して、「いつ～するのか？」を問う英文を作ることができる。				
評価規準 [観点](見取る方法)	[can-doリスト参照]Whenを使って身近なことについて、即興的に会話したり、英文を書いたりすることができる。(ワークシート・会話)				
展 開	【めあて】	「When」を使って英文を作ってみよう			
	《課題》	「いつ部屋の掃除をするのか？」尋ねる文を作れるか			
		<学習活動> ・既習の疑問文「部屋の掃除をしますか」を想起する ・例文をもとにお互いに対話する。 ・Whenについて学習し、身近な事柄で対話練習する			
	《まとめ》	Whenを使った表現ができた			
	【振り返り】	Whenも他の疑問詞と同じ使い方になる。			

